2025 年度（第 8 期）の事業報告書

2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 COLLAWAKE

1　事業の成果・課題

＜＜経営革新・創業支援事業＞＞

＜①社外メンバー協働型（プロボノ事業）＞

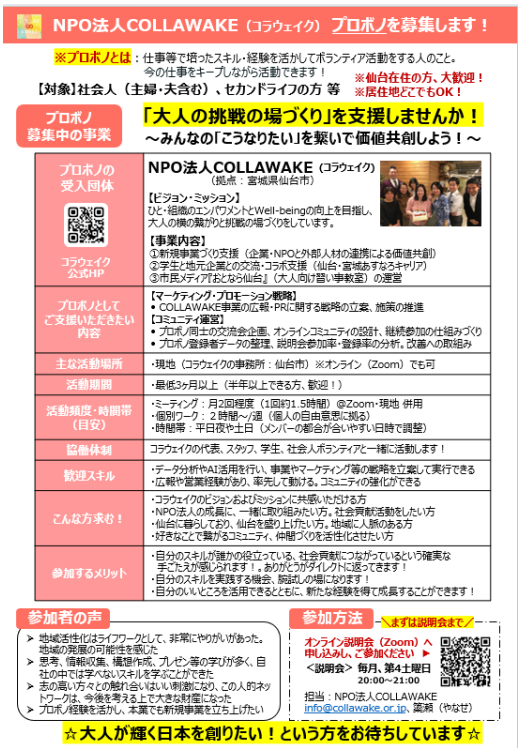
【事業の成果】

1）今期は、企業と連携したプロジェクトは実施せず、当会自体に「経営企画室」を新設して、これまでのプロボノ・プロジェクトで活躍してくれたメンバーの中からプロボノを募集し、2 名のプロボノと一緒にこれまでの事業の振り返りを行った。マクロ環境が大きく変わる中での当事業の有効性や役割、顧客やプロボノのペルソナについて再考し、第 9 期で事業を展開していく準備を進めた。

特に、AI 導入が進む中、プロボノ・プロジェクトの固有の価値を深めた。

2）プロボノ募集の方法についても再考し、チラシ作成やマッチングサイト探し・登録（activo）を行い、募集したい時に円滑に募集できる基盤づくりを進めた。



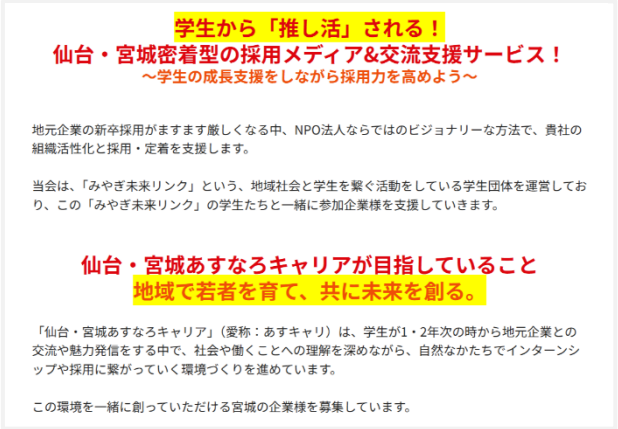


＜＜採用・就職・定着支援事業（ランチ de 就活⇒仙台・宮城あすなろキャリア）＞＞

＜事業の成果＞

①宮城密着型で学生と地元企業双方へのサポートを強化するため、「ランチ de 就活」ポータルサイトを「仙台・宮城あすなろキャリア」ポータルサイトにリニューアルし、5 月にオープンした。





②プログラムメニューも改定し、学生の低学年からのキャリア観の醸成や、学生・企業の交流をより強化するプログラム内容に改訂した。学生が 1・2 年次から地元企業の経営者・社員と交流・協働できる土台をつくると共に、地元企業が学生の社会参加や成長に協力しながら、自社の組織や採用力を強めていくプランをつくった。

③「仙台・宮城あすなろキャリア（あすキャリ）」へのプログラム強化に伴い、目下、学生メンバーから成る「みやぎ未来リンク」を立ち上げ、スタートさせた。「みやぎ未来リンク」の命名や企画は、当会のインターン生が担い、後方支援のかたちで立ち上げた。2024 年から構想がスタートし、代々のインターン生が引継ぎながらブラッシュアップし、実現に至った。「みやぎ未来リンク」の学生チームが、「あすキャリ」のプログラムで地元企業に取材して魅力を発信したり、交流イベント等を企画・運営していく基盤ができた。企業向けに実施する「採用ブランディングワークショップ」への参加も始まった。





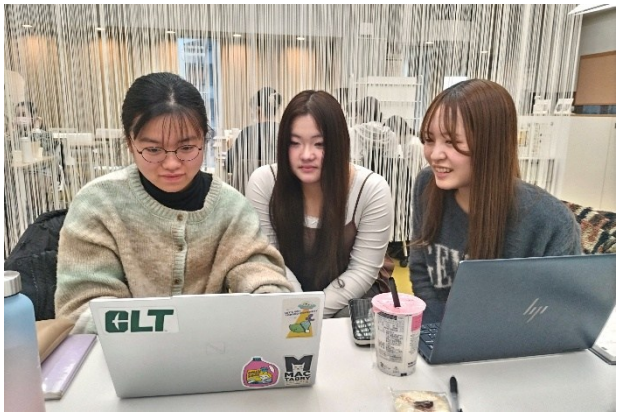


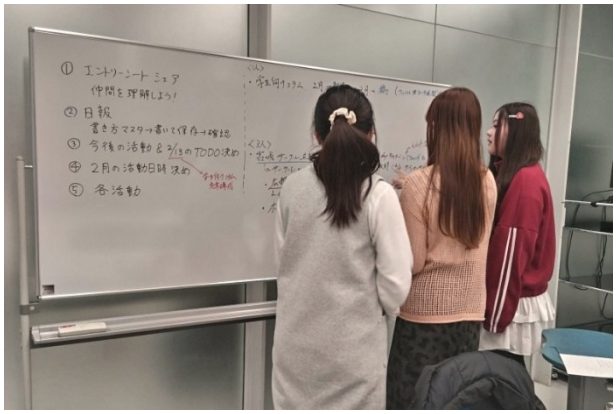


④「仙台・宮城あすなろキャリア」ポータルサイトの「お役立ちコーナー」（学生向け、社会人向けの 2 種類ある）でのコラム発信を継続した。社会人向けは、産業医の方の協力を得て季刊ベースで発信した。
学生向けは、当会の学生スタッフやインターン生が自らの体験とリサーチでコラムを執筆してくれた。イラストは AI も活用しながら作成しており、学生が新しいことにトライする機会にもなった。



⑤「みやぎ未来リンク」で活動してくれている学生とは別に、ドットジェイピーさんの「ソーシャル・インターンシップ」を通じ、2 名のインターン生を受け入れ、実践型インターンシップを展開した。本人たちの興味関心も聞いた上でお題を出し、自主的に考えて行動し、成果物を作るサポートを行った。また、「ガクチカ」が形に残るよう、体験記事の執筆と発信もお願いした。元から居る「みやぎ未来リンク」の学生メンバーが、インターンのお世話をしてくれるなど、大学や学年を超え、学生間での交流が進んだ。
意欲ある若者の挑戦の場、お互いの成長に資する協働の場として、今後も若者を受け入れていきたい。





⑥当会の学生スタッフ２名が「女性リーダーズカレッジ」（宮城県中小企業家同友会 女性部会・宮城県よろず支援拠点 共催）に体験参加し、「ランチ de 就活」においての学生集客のあり方、方法について深めてくれた。



⑦東北学院大学 OB/OG が活躍中で、かつ、在校生のキャリア学習を支援する意思のある「キャリアサポーター企業」様と学生がアットホームに交流するイベントを４回実施した。
主催は東北学院大学 就職キャリア支援課さんで、「ランチ de 就活」は事務局としてサポートを行った。
７/３、７/１０、２０２６年2/２４の３回は、ランチを食べながらラフに交流する「ランチ de 交流会」を実施した。






そして、２０２５年１０/１６は、おやつを食べながら気軽に交流する「おやつ de 交流会」を実施した。




いずれの交流会でも、双方の理解が進む闊達な交流・質疑応答ができ、企業・学生ともに、アンケートでの満足度も高かった。当イベントでも当会の学生インターンが準備や運営を手伝ってくれた。

⑧宮城県では、産学官が連携し、ものづくり産業の人材の育成・確保に取り組むため、「みやぎものづくりカレッジ」というプロジェクトが進んでいる。
https://www.pref.miyagi.jp/documents/54153/panf.pdf

当プロジェクトの目的は、学生に宮城県内のものづくり企業の魅力を知って貰い、大学での学びがさらに充実するとともに、県内企業への就職について関心を高めていくこと。

このプロジェクトの一環で、東北学院大学さんが、２０２５年１０/２、１１/２７、１２/１１の３回に渡って「おやつ de 交流会」を実施し、「ランチ de 就活」は事務局としてサポートを行った。当会のインターン生達も一所懸命手伝ってくれた。
いずれの回でも、企業さんと学生がおやつを食べながら、和気あいあいと交流し、相互理解が進んでいる様子が見受けられ、アンケートでの満足度も高かった。









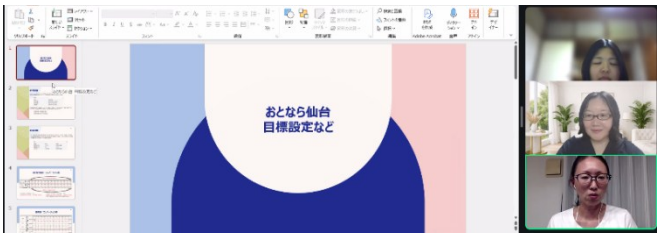
＜＜地域課題の解決事業＞＞

「大人の習い事メディア事業（住民参加型）」として、大人向けの習い事教室の情報を掲載するポータルサイト「おとなら仙台」を２０２５年５月にオープンしたが、当メディアの展開に取り組んだ。

＜事業の成果＞

①「おとなら仙台」専属のプロボノを募集したところ、社会人プロボノ４名、学生ボランティア１名が集まってくれ、一緒に活動を進められた。役割分担し、会費自動徴収のしくみの導入、教室探し～教室へのDM発送、Googleアナリティクスの運用、SNS広報、ナビゲーションアニマル・「ならうモン」の４コマ漫画の作成等を実行することができた。



























②一時期、当会内部で教室の取材～サイト用の原稿の作成までを担っていたが、TOHOKU３６０さんとの連携を再開した。今後もTOHOKU３６０のライターさんにお願いしていける道筋ができた。





③５月にオープンし、実際に運用してみて分かった不具合等をenroudさんと連携して修正できた。また、賛助団体の掲載セクション等を追加できた。

④プロボノが先生にニーズヒアリングを行い、ニーズを基に先生向けのイベントの企画を進められた（実施は第９期）。

⑤「みやぎ未来リンク」の学生メンバーが、社会人プロボノからSNS広報を引き継ぎ、自分たちで広報計画を立てて実行してくれるようになった。自主的にリール動画等を始めるなど、若者らしいスキルを活かし、新しいことにも取り組み始めてくれた。
習い事教室に体験取材に行き、体験レポート書いて「おとなら仙台」ポータルサイトやSNSで発信するなど、物怖じせずに外に出て行って先生・生徒さんと交流し、記事を書き、発信してくれた。









仙台エリアの、主にミドル・シニアの生きがいづくりと心身の健康を、同じ市民同士が支援する温かい輪が広がっていくよう、ボランティア・学生をより巻き込み、「市民メディア」としての性質を深めていきたい。
また、手に職をつけ、生徒さんのために頑張っている先生方へのサポートも強めていきたい。

＝学生記者の体験記事の例＝

・フラメンコ教室体験：https://otonara-sendai.jp/column/808/

・タイ古式マッサージスクール体験：https://otonara-sendai.jp/column/1088/

＝ならうモン ４コマ漫画の例＝

・リフレッシュサロン Ayumi さん： https://www.instagram.com/p/DcP-CUej_RU/

＜＜その他の成果＞＞

当会内に「経営企画室」を新設し、プロボノ２名が運営体制や組織の強化に取り組んでくれるようになった。

・会員制度を設けて寄付サイトの Syncable に登録。実際に、Syncable から寄付をしてくれる人が現れた。

・当会の経営企画室やおとなら仙台で活動してくれるプロボノの募集を、ボランティア・プロボノ募集サイトの activo で開始。activo を通じ、期内に２名のプロボノが実際に活動してくれるに至った。

・同じく、プロボノ募集のチラシを全国版と仙台版の２種類で作成し、限られた範囲ではあるが配布に至った。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事業名（定款に記載した事業）	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（単位：円）
経営革新・創業支援事業	＜社外メンバー協働型（プロボノ事業）＞ ①これまでの事業の振り返りと事業全体の再考 ②広報 PR の準備	年間を通じて実施	仙台市内（自社事務所、仙台駅近くの施設）、オンライン	３人	・日本全国の中小企業 ・日本全国・海外の社会人、学生	343,378 前年度：345,948
地域特化型採用・就職・定着支援事業（ランチ de 就活/ 仙台・宮城あすなろキャリア）	①「ランチ de 就活ポータルサイト」の運営 ②「仙台・宮城あすなろキャリア」の運営 ③サービスメニューの開発、実施 ④学生向けアンケートの実施 ⑤「みやぎ未来リンク」の立ち上げ・運営開始 ⑥大学との連携イベント（学生・企業交流会）の実施（事務局機能）	①4/31 まで ②5/1 から年間を通じて実施 ③年間を通じて実施 ④９月 ⑤年間を通じて実施 ⑤イベント実施：7/3, 7/10, 10/2, 10/16, 11/27, 12/11, 2/24（2～3h）	仙台を中心に宮城県内（顧客の事務所、自社事務所、大学施設）、オンライン	８人	・仙台・宮城の地元企業で新卒・中途採用をしたい企業 ・サイトの利用者（宮城で就職したい学生・社会人） ・「みやぎ未来リンク」：県内在住の学生 ⑤イベント参加 企業：２９社 学生：８８人	1,721,852 前年度：1,410,643
地域課題の解決事業	＜大人の習い事メディア事業（住民参加型）＞ 仙台エリアの大人向けの習い事教室の情報を掲載し、体験教室に申し込める市民メディア「おとなら仙台」の運営。 ①習い事教室の発掘～提案活動 ②習い事教室の取材～教室別サイトの作成、メディアへの掲載 ③広報活動（HP、SNS） ④追加取材～発信（HP、SNS） ⑤先生へのニーズ調査 ⑥先生同士の交流会の実施	①～④年間を通じて実施 ⑤３月・４月 ⑥イベント実施：7/27（13:30～15:30）	仙台市内（自社事務所、先生の教室、仙台駅近くの施設）、オンライン	１８人	・仙台市内の住民のうち、２０代後半～シニア層 ・市民記者は学生～シニアまで	1,500,726 前年度：2,398,789

以上